

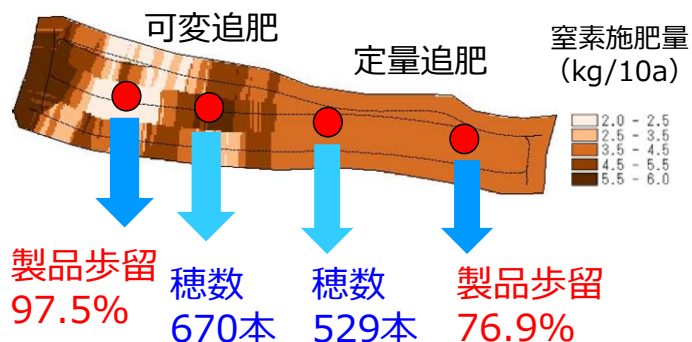
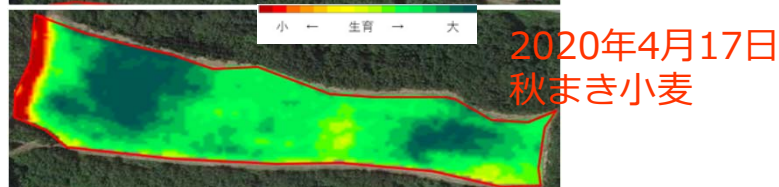
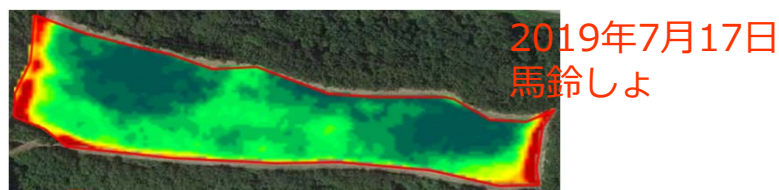
# 生育マップとセンサを利用した 秋まき小麦の収量安定化

## 概要 Abstract

①過去の衛星データ（生育マップ）を使って  
起生期の追肥ができます。

②幼穂形成期以降のセンサを使った  
施肥と組み合わせると収量が高位安  
定化します。

## 成果 Results

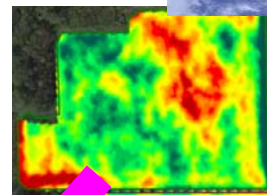


●毎年生育が悪い箇所で穂数増（収量の底上げ）！

●毎年生育が良い箇所で製品歩留まりの低下抑制！

## 普及 Dissemination

秋まき小麦の収量安定化技術として活用できます。



マップ

センサ

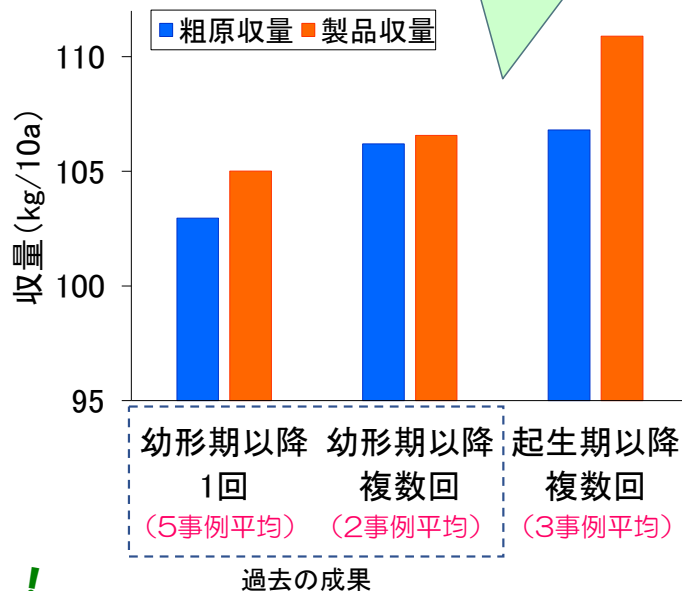


起生期



幼穂形成期以降

可変施肥は早い時期から複数  
回組み合わせると効果的！



## 連絡先 Contact

十勝農業試験場  
研究部 生産システムグループ  
0155-62-9835  
tokachi-agri@hro.or.jp